

令和7年度 第1回 阿賀野市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時 令和7年6月25日（水）午後2時00分～午後3時00分

場 所 阿賀野市役所 403会議室

出席者 委員名簿のとおり

議 事

（1）令和6年度事業報告について

○意見・質問等はなく、原案のとおり承認された。

（2）令和7年度事業計画について

○次のとおり意見・質問があったが、原案のとおり承認された。

委員：小中学生の子供を持つ、親世代からよく出る意見として、土日の子供の部活動の際に市営バスがあると便利というものがある。現在の市営バスでは平日のみの路線がほとんどだが、令和7年10月からの路線見直しの際に、土日も運行する路線が増えるというような変更は検討しているか。

事務局：令和7年10月以降の路線は五頭温泉郷線、分田線、AI オンデマンドバスの3つであるが、五頭温泉郷線は土日含む毎日運行を維持、分田線・AI オンデマンドバスについても平日のみの運行を維持する。

会長：阿賀野市 AI オンデマンドバスに似た他市町村での事例を見たときに、バス停の数が乗客数に関わるといった報告もある。今回、令和7年10月からの AI オンデマンドバスの増便の際にも新規バス停の設置や、既存バス停の見直し等行うと思うが、基準となるようなアンケートや乗車数などのデータはあるのか。

事務局：現在、阿賀野市内の全自治会に向けてバス停の改廃や既存バス停の移動について、意向調査を実施している。その際、自治会には、原則、定時定路線時代のバス停は AI オンデマンドバスに移行した後も存置するが、AI オンデマンドバスに移行する前の定時定路線において、5年間利用実績がないバス停は原則廃止するという方針をお伝えしている。

会長：水原バイパスが開通したことによって、今後市外から来られる方が増える
と予想できる。そうした方に阿賀野市内で周遊していただくために、「道の駅あが
の」などの基軸となる場所を中心に、AI オンデマンドバスの活用や、バイパスを
主体にした新しい定時定路線の設置など、データを見ながら、今後検討していかな
ければならないと思う。その際に、現在の AI オンデマンドバスは買い物や通院
などの利用が中心であるため、必要であれば商工観光課とも連携しながら、観光
客にも利用してもらえような施策も検討してほしい。

会長：現在の AI オンデマンドバスのシステムは、運行中でも 1 時間後に新しく予
約が入ってくる可能性があるものだが、タブレットなどの操作も含めて、その運
行体系に適応できるようなドライバーの確保が今後課題になると感じている。

事務局：令和 7 年 10 月からの路線改廃について、AI オンデマンドバスは 2 台の
増便を計画しているが、廃止となった既存 4 路線のドライバーを中心に、人材を
確保していければと考えている。

会長：現在、学校教育課が運行しているスクールバスとの住み分けは出来ている
か。

委員：目的や運行主体が異なるため、今後も連携を取りながら住み分けていく。

会長：現在、市内で実施しているパークアンドライド駐車場の利用調査について、
こういった目的での利用者が多いかというデータはあるか。

事務局：現在の利用調査では、駐車場・駐輪場に止まっている車両の台数の調査
しか行っていない。

会長：今後、パークアンドライド駐車場の利用調査について、こういった目的で
利用しているか、今後も利用する予定があるかなどのニーズ調査も行うべきでは。
ニーズ調査を行う際には LINE などを活用したアンケートも検討してほしい。

水原バイパスを中心とした道路政策、バス、JR 路線などの公共交通政策につい
てもそうだが、こういったニーズがあるのか把握していないと、効果的な施策が
打てない。

会長：先般、本市の関係課と私で JR との話し合いの場を設け、現状についての課
題共有等を行った。増便や、便の空白時間帯を減らすようなダイヤ組みについて、

要望をしたが、実現のためにはハードルが高いとの JR 側の返答もあった。今後も、そのハードルを解決するために、定期的に会議を行い、市民の皆様に進捗について共有出来たらと考えている。

（３）令和８年度地域公共交通確保維持計画について

○意見・質問等はなく、原案のとおり承認された。